

平成24年度当初予算 予算要求シート

整理番号	19 - 008	マスタープラン 3つの挑戦	低炭素	マスタープラン 施策番号	6 - 3	局・課名	建設局・道路計画課
区分	新規・拡充・重点 —						(単位 千円)

事業名	幹線道路の渋滞に係る中期対策検討業務(政令市)			平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額
関連事業	・堺市の交通ビジョン(自動車への過度な依存からの脱却と自動車交通の円滑化) ・堺市環境モデル都市行動計画 (自動車交通の円滑化及び低公害車の普及とエコドライブの推進) ・都市計画道路の整備			事業費		5,000
事業目的	道路における交通混雑は、移動時間増加による経済活動の阻害、生活道路への通過交通流入、車両の速度低下による大気汚染物質の増加など、日常生活に影響を及ぼしている。堺市内においても交通が混雑している状況が見られ、このため効果的な事業を実施することにより、交通混雑の緩和を図ることを目的とする。			事業期間	H ~ H	全体事業費
事業内容	平成19年度にVICSデータ等に基づき国が示した「今後対策すべき渋滞ポイント(34箇所)」を基に、平成19年度及び平成20年度の2カ年で、プローブカーを用いた予備調査(34箇所)及び渋滞長や通過時間を調査する詳細調査(28箇所)を行った。 この結果を基に対策の検討を行い、交差点の路面表示の変更や信号現示の見直しなど、短期的な対策を進めてきた。 しかし、短期的対策では効果及び対策箇所が限定されるため、道路ネットワークの形成、TDM等による公共交通への転換等の長期的対策を着実に進めるとともに、中期的な対策を行う必要がある。 特に抜本的な対策となる都市計画道路の整備を進めるためには、多大な費用と時間を要するため、今後、限定された区間での整備や交差点改良など、比較的効果の発現が早い対策の検討、実施が必要である。			今年度要求のポイント		
				効果的かつ効率的な事業の実施をめざし、調査を実施した28箇所のうち、都市計画道路未整備区間(拡幅、立体交差)に該当する箇所を中心に、H22センサスデータを活用し、事業箇所を絞り込んだうえ、交差点改良など中期的な対策の検討を行う。 また、今後の検討に活かすため、これまでに対策を実施した箇所のフォローアップ調査について合わせて実施する。		
				主要要求内容 (単位：千円)		
	項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等		
	委託料等		5,000	対策案の検討、調査等		
	その他					
	合計	0	5,000			
スケジュール(経過及び今後展開)				その他 特記事項		
【経過(～23年度)】 H19年度～H20年度 調査 H20年度～H22年度 短期的対策の検討及び対策の実施 H23年度 中期的対策の簡易検討及び舟渡北・南交差点の対策検討		【24年度】 ・中期的対策の検討 ・短期対策のフォローアップ調査		【今後(25年度～)】 ・工事設計、事業実施 ・継続的な状況把握		「するっと交差点対策」として、政令市移行前に大阪府により対策を実施した箇所 ・下黒山交差点(右折レーン延伸) ・南陵町交差点(右折レーン延伸) ・深井駅前北・西(立体交差化)など